

植調協会だより

◎ 会議開催日程のお知らせ

- ・平成15年度冬作関係（麦類・いぐさ・水稻刈跡）除草剤・生育調節剤試験成績検討会

日時：平成16年9月7日(火)，10：00～17：00

場所：池之端文化センター

〒110-0017

東京都台東区池之端1-3

TEL 03-3822-0151

編集後記

今年の夏は記録ラッシュの年でした。猛暑！30℃を越す猛暑の連続日数記録。夏台風の襲来。記録的な集中豪雨，特にこの集中豪雨は各地で洪水，堤防欠壊，床上浸水，田畑の冠水，土砂崩れと大災害となりました。被災地の皆様には衷心よりお見舞い申し上げます。

景気回復の兆しか，今年の夏休みは，多くの企業で休暇日数が多くなり，8月のお盆を中心にして帰省ラッシュとなって，高速道路をはじめとして新幹線，航空便など各交通機関は大混雑が予想されています。猛暑の中，案内役，先導役のお父さん達，くれぐれも無理をせず，安全第一に行動されますようお願い申し上げます。



▲ミソハギ

お盆といえば昔からお墓の仏花として「ミソハギ」を供える地方が多かったようです。ミソハギは「ミソハギ科」の多年草で，茎は株元でよく分枝し，高さ80cm内外，夏の8月

頃に茎先に長さ30cmぐらいの穂状に淡紅紫色の小さな花を密につけ，全体として見ばえのする花穂を咲かせます。昔は田のあぜ，水路などに普通に見られましたが，最近は数が少なくなり，探すのに苦労する程になりました。それに反し，同じ「ミソハギ科」の

ヒメミソハギ，外来種のホソバヒメミソハギ，ナンゴクヒメミソハギなどが水田や水路に多くなり，水田の雑草として問題になっています。水田の植生にも時代の流れを感じるこの頃です。㊦

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 (03)3832-4188 (代)
FAX (03)3833-1807

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 小林 仁
発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸七

発行所 東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
植調編集印刷事務所
電話 (03)3833-1821 (代)
FAX (03)3833-1665
E-mail : hon@zennokyo.co.jp

印刷所 新成印刷(有)

平成16年8月発行 定価525円(本体500円+消費税25円)

植調第38巻第5号

(送料 270円)